

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月04日

計画の名称	大阪港海岸における老朽化施設の緊急対策（防災・安全）（重点）											
計画の期間	平成31年度～令和03年度（3年間）											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	大阪市											
計画の目標	老朽化が進む海岸保全施設等の適切な維持管理のため、長寿命化計画に基づき、特に老朽化が進んでいる施設について老朽化対策工事を実施する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	521	A	521	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式			当初現況値	中間目標値	最終目標値
	H31当初		R3末			
1	長寿命化計画に基づき、老朽化により所定の機能が確保されていない又は機能低下の恐れのある海岸保全施設のうち、特に緊急に実施すべき施設について、老朽化対策の達成率を0%から100%にする。 老朽化対策により所定の機能を確保した施設延長 / 所定の機能が確保されていない又は機能低下の恐れのある海岸保全施設のうち、特に緊急に実施すべき施設延長	0%	%			100%

備考等	個別施設計画を含む <input type="checkbox"/>	国土強靭化を含む <input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む <input type="checkbox"/>	- 連携中枢都市圏を含む <input type="checkbox"/>	- 流域水循環計画を含む <input type="checkbox"/>	- 地域再生計画を含む <input type="checkbox"/>	- 避難確保計画の策定 <input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供 <input type="checkbox"/>
(港湾局)								

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪市（大阪港湾局）にて評価を実施	令和5年8月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化等により機能低下の恐れがある施設を修繕することで、老朽化対策の達成率が100%になった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	老朽化等により機能低下の恐れがある施設を修繕することで、施設の機能低下による災害の発生を抑制し、津波・高潮に対する安全性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
一部事業について、引き続き港湾関係補助金の海岸（メンテナンス）事業を活用し老朽化が進む海岸保全施設等の適切な維持管理のため、長寿命化計画に基づき、特に老朽化が進んでいる施設について老朽化対策工事を実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

社会资本総合整備計画

